

# 情報提供

令和5年7月1日現在

## I 学校概要（情報提供ガイドラインの項目1）

### 1 学校組織

#### (1) 学校法人岡山科学技術学園

理事長 瀬戸川正彦  
校外理事 梶谷俊介 松田 久 丸山夏樹 横田直樹  
校内理事 瀬戸川康宏 大月秀之 小野裕明 安藤研二  
監 事 入江一吉 和氣由典  
所在地 〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町8番10号 TEL (086) 255-7171

#### (2) 専修学校岡山科学技術専門学校

校長 大月秀之  
設置課程 工業専門課程、文化・教養専門課程  
所在地 〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町8番10号 TEL (086) 255-7171  
〒700-0034 岡山県岡山市北区高柳東町7番15号 TEL (086) 255-4822  
HP <https://www.oist.ac.jp>

### 2 教育活動方針

#### (1) 教育理念

技術教育を通じての人間教育

#### (2) 教育体系

岡山科学技術専門学校では、専門教育の充実、資格取得の推進、進路指導の充実、学生指導の充実を教育活動方針の柱とし、社会に貢献できる人間性豊かな技術者の育成を目指している。併せて教育活動を継続的に改善するため、PDCA サイクルを活用している。基本的な流れとしては校長の定める教育活動方針および学科で作成する学科ガイドブック (Plan) をもとに教育活動を実施 (Do)、年度末に自己点検 (Check) を行い、次年度の教育活動方針に反映 (Action) させるという構成となる。PDCA サイクルの要となる自己点検は、教職員に対するアンケート方式で毎年末に行っている。

### 3 沿革

昭和62年10月 専修学校の設立が認可される  
昭和62年11月 1号館竣工  
昭和63年 4月 開校式を挙行  
設置学科：情報系、電気系、生物、機械系、自動車の11学科  
昭和63年 9月 2号館竣工  
平成 1年 4月 建築・インテリア系学科を新設  
平成 8年 4月 3号館竣工  
設置学科 情報系、電気系、生物、建築系、機械、測量、自動車の11学科  
平成 9年 9月 創立10周年記念式典を挙行  
平成18年 3月 高柳校舎 B 棟・C 棟竣工。3号館を A 棟に改称

平成23年 4月	日本語学科開設
平成24年 5月	創立25周年記念式典を挙 設置学科 情報、映像音響、電気、バイオサイエンス、建築系、測量、 ものづくり、自動車系の11学科
平成28年 4月	国際自動車工学科、進学準備学科開設 設置学科 情報、映像音響、電気、バイオサイエンス、建築系、測量、 ものづくり、自動車系、日本語系の14学科
平成30年 5月	創立30周年記念式典を挙
平成31年 4月	学科名変更 バイオサイエンス学科 ⇒ 食品生命科学科 ものづくり工学科 ⇒ ものづくり創造学科
令和 4年 4月	学科名変更 電気工学科 ⇒ 電気通信工学科 ものづくり創造学科 ⇒ 国際機械工学科 一級自動車工学科 ⇒ 一級自動車工学研究科 新設 ICT ライセンス学科 設置学科 映像音響、電気通信、食品生命科学、建築系、測量系、機械系 情報処理、自動車系、日本語系の14学科

#### 4 設置学科、学生数\*2

学科名	V*1	E*1	B*1	K*1	LK	N*1	M*1	LM*1	RC	IC	IS*1	IM*1	Y	J
学生数*2	42	44	17	61	5	23	44	2	9	15	7	115	2	164

\*1：職業実践専門課程認定学科

\*2：令和5年5月1日現在

(人)

V 映像音響学科

E 電気通信工学科

B 食品生命科学科

K 建築工学科

LK 建築工学研究科

N 測量環境工学科

M 二級自動車工学科

LM 一級自動車工学研究科

RC ICT ライセンス学科

IC 国際情報学科

IS 国際機械工学科

IM 国際自動車工学科

Y 進学準備学科

J 日本語学科

## II 各学科等の教育（情報提供ガイドラインの項目2）

### 1 映像音響学科

#### (1) 目指す学科像

本学科は、エンターテインメント業界という人々に感動を提供する人材の育成を目指すため、以下の2点に取り組みます。

- ① 文化施設・芸術団体との連携を図り、舞台・芸術に触れることのできる、教育環境を構築します。
- ② 作品制作や専門技術の習得を通じ、エンターテインメント業界に寄与する人材を育成します。

#### (2) 育成する学生像

人々の心を打つ、作品、空間を作り出す豊かな創造力と、それを形にする専門的知識を身に付けた人材の育成を目指し、以下の3点に取り組みます。

- ① 多種多様な資格試験へ挑戦し、幅広い専門知識を習得した人材の育成を目指します。
- ② インターンシップを通じて、様々な人と関わり、表現力豊かな人材の育成を目指します。
- ③ 創作活動を通じて、達成感や人々に感動を与える喜びを知るとともに、その世界を作り出す厳しさを理解した技術者の育成を目指します。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
舞台機構調整技能士	入学後、3級受験資格の取得 在学中に2級まで受験可能	舞台音響・舞台照明の技術者にかかわる唯一の国家試験。現役の技術者も毎年多く受験している。

(4) 将来はこんな職業に

- 映像関係 (TV 番組制作・技術、ブライダル撮影・編集)
- 音響関係 (TV 音声、コンサート PA、ブライダル PA、ラジオ PA)
- 照明関係 (舞台照明、TV 照明)
- その他 (文化施設管理業務、イベント企画・運営、舞台設営、特殊効果)

## 2 電気通信工学科

(1) 目指す学科像

我が国の電気利用は、エネルギーとしてだけでなくあらゆる分野に広がっています。また通信への需要は年々高まり通信技術無くして社会は成り立たなくなっています。本学科は高い技術力を持ち社会に貢献できる電気技術者、電気通信技術者を育成するために、以下の3点に取り組みます。

- ① 電気工事と電気通信に重きを置いたカリキュラムを編成し、電気理論と電気通信の基礎・基本を徹底して学習することにより、電気工事、電気通信工事、通信設備の操作や保守点検等ができる人材の養成を目指します。
- ② 第二種電気工事士、第一種電気工事士、工事担任者第一級デジタル通信、第一級陸上特殊無線技士、第一級陸上無線技術士、第三種電気主任技術者、2級電気工事施工管理技士、2級電気通信工事施工管理技士の資格取得を目指します。
- ③ 挨拶やマナー教育、6S (整理・整頓・清掃・清潔・躰・安全) 管理の指導を継続的に行います。

(2) 育成する学生像

電気通信技術者への多様な要求に応えるため、以下の3点に取り組みます。

- ① 質の高い確かな技術力を持った、即戦力となる電気通信技術者を育成します。
- ② 自主的・創造的な精神を持ち、継続的に資格取得に挑戦する人材を育成します。
- ③ 礼儀正しく人間性豊かでコミュニケーション力を持った人材を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
第二種電気工事士	卒業と同時に無試験で取得	一般用電気工作物(一般家庭など)の工事に必要な資格。
1級電気工事施工管理技士	卒業後実務経験5年で受験可能	大規模建設において電気工事と他の工事に関連づけ、電気工事の現場を監督し、管

		理する立場の資格。
2級電気工事施工管理技士	卒業後実務経験2年で受験可能	小規模建設において電気工事と他の工事を関連づけ、電気工事の現場を監督し、管理する立場の資格。
1級電気通信工事施工管理技士	卒業後実務経験5年で受験可能	大規模建設において電気通信工事と他の工事を関連づけ、電気通信工事の現場を監督し、管理する立場の資格。
2級電気通信工事施工管理技士	卒業後実務経験2年で受験可能	小規模建設において電気通信工事と他の工事を関連づけ、電気通信工事の現場を監督し、管理する立場の資格。

(4) 将来はこんな職業に

- 設備工事関係(電気工事、通信工事、電気・通信機器整備などの電気・通信技術職)
- 設備管理関係(工場・ビル・病院などの電気・通信・空調の設備管理職)
- 電気保守関係(製造業などの工場の受電設備や配電線の電気保安技術職)
- 機械保全関係(企業・工場での機械の修理・点検・工務などの保全技術職)
- サービスエンジニア関係(卸売・小売業販売業などでのカスタマーエンジニア)
- 技術公務員関係(公務員・法人などの電気・通信技術職員)

### 3 食品生命科学科

(1) 教育方針

当学科は以下の5点に取り組みます。

- ① 専門教育・基礎学問の充実
  - ・食品科学・環境科学・微生物学を基礎学問とし、毎時間の授業、実習を確実に積み上げ、チームワークを中心とした実習に努めます。
  - ・時代が要求する知識(HACCP衛生管理、各種PCR検査技術)や情報を積極的に取り入れ、将来に活かせる学習に努めます。
  - ・座学で得た知識を実習で活かし、実践で活躍できる学生を育成します。
- ② 地域に根差した専門学校を目指します
  - ・地元ハーブ・発酵企業とコラボし、「カギセン」ブランドの製品化を目指します。
  - ・環境の授業を通じ、学校周辺のごみ回収活動に参加し、積極的に美化に努め、清掃活動を通じ、地域奉仕の心や人間として美しい豊かな心を養います。
- ③ 資格取得の推進
  - ・新に「エコ検定」を止め、より実践的な「環境測定分析士3級」を目指します。
- ④ 進路指導の充実・学生指導の充実
  - ・あいさつ・コミュニケーション力を磨き、相手が何を言おうとしているか、それに対し、自分の伝えたい事が的確に伝えられる、社会人となるため、実習の発表等で力をつけます。
  - ・18歳から成人となることや、社会人になるにあたり、しっかりと社会人としてのマナー(挨拶、時間を守る、ほうれんそう、整理整頓等)を身に付けさせます
  - ・躰に関して、社会に出た時困るであろう自分の性格を、授業やインターンシップを通じ、気づかせ直す方向に導きます
  - ・学校内での安全はもとより、地域、自宅での緊急事態に備えた安全教育を行います。
  - ・進路、卒業生とも協力し、就職率100%を目指します。
- ⑤ 学生の確保
  - ・将来就きたい職種の一つの候補として、選ばれるようなオープンキャンパスのメニュー

(環境系メニュー等) を用意し、魅力ある学科にしていきます

(2) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
中級バイオ技術者認定試験	卒業見込みで受験可能	遺伝子組換えなどの技術、そしてこれらを行うための安全管理に関する知識を持ち、適切な指導者のもとで実際にバイオテクノロジーに適応しうる資質を認定する。

(3) 将来はこんな職業に

■食品衛生検査

食品中の汚染の指標菌や食中毒菌を検査し「食の安心・安全」を担保する業務を担当します。

■環境分析技術者

河川の水質分析や大気汚染物質の測定、希少な動植物の調査など、環境保全の業務を担当します。

□その他

■発酵関連 ■食品製造 ■食品開発 ■化学関連 ■品質管理 など

## 4 建築工学科

(1) 目指す学科像

- ① 建築設計・施工の分野のみならず、インテリア・福祉住環境など幅広い専門分野の学習と知識の習得を目指す。
- ② 2級建築士や2級建築施工管理技士・インテリアコーディネーター・積算士補など、多くの資格取得が可能となる学習を実践する。
- ③ 企業・外部講師との連携やインターンシップ等多彩な取組を通じて、社会で通用する実践力が身に付くように学生指導を行う。
- ④ 学生と教員の相互信頼を大切にしながら、日々の授業実践を真剣かつ興味あるものにする。

学科のスローガン

- ★★★ 自己管理を徹底して遅刻や欠席をなくし、真剣に学ぶ！
- ★★★ 建築業界で活躍できる資格取得と実践力を身に付ける！
- ★★★ 規範意識を持ち、マナーやルールを守る！
- ★★★ 整理、整頓、清掃を徹底する！

(2) 育成する学生像

- ① 建築教育を通じて、創造することの楽しさや喜びを感受できる豊かな心を育み、社会に貢献できる学生を育成する。
- ② 建築の専門資格や技術を修得することで、未来に挑戦する意欲を養い、自信と誇りを持った学生を育成する。
- ③ 基礎・基本を大切にしながら多様な知識・技術を身に付け、意欲的に実社会に飛び込もうとする、生きる力と逞しさを備えた学生を育成する。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
一級建築士	卒業と同時に受験可能。 合格後実務経験4年で登録可能	建築物の用途、規模、構造など無制限に、設計および工事管理ができる高度な資格。
二級建築士	卒業と同時に受験可能	一級より業務範囲は限られるが、設計や工事の業務ができる有利な資格。
木造建築士	卒業と同時に受験可能	延べ面積300m <sup>2</sup> 、階数2以下の木造建造物に関する業務を行う木造専門の建築士資格。
1級建築施工管理技士	卒業後実務経験5年で受験可能	建築施工技術者を育てる指導的技術者の資格。幅広い建築工事で、管理技術者として活躍できる資格。
2級建築施工管理技士	在学中に学科試験受験可能。 卒業後実務経験2年で実地試験受験可能	現場監督など工事現場での義務づけられている有資格者として活躍できる資格。
建築積算士補	在学中に受験可能	建築物のコスト算定や材料の数量計算などを行う。建築物をコスト面から管理する資格。
インテリアプランナー	在学中に学科試験受験可能	建築物の内部空間の企画・設計から工事管理までトータルに行うことができる資格。
インテリアコーディネーター	在学中に受験可能	住む人にとって快適な住空間を作るために適切な提言・助言を行うことができる資格。インテリア計画や商品選択のアドバイスなどを行う。
商業施設士	卒業後実務経験1年で受験可能 さらに1次試験免除	商業施設の運営・管理システムや店舗の設計デザインから管理までを行うための資格。

(4) 将来はこんな職業に

- 進学（建築工学研究科で2級建築士を在学取得）
- 建設会社（設計・施工・大工）
- 建築設計事務所（設計）
- 住宅メーカー（住宅営業・設計・施工）
- 建材メーカー（営業・工場など）
- 家具・インテリア関連企業（デザイン・制作）

## 5 建築工学研究科

(1) 目指す学科像

本科はインターンシップや重点資格の卒業後のフォローを含む、「学習効果（学科実績）を確実に高める教育」を重視した効果的なカリキュラムと教師間の効果的な連携により、最新の専門知識や技術を修得するとともに自己研鑽に励み研究意欲に溢れ、社会に通用する実践力を備えた人間性豊かな建築技術者の育成を目指す。

■重点目標：ワンランク上へのスキルアップ！

- ① 仕事に役立つ資格や最新技術の取得に挑戦し実現させる計画力と実行力を身に付ける。
  - ・二級建築士、2級建築施工管理技士、インターンシップ
- ② 本物を目指し、効率的な仕事をするためのPDCAサイクルの理解
  - ・Plan(計画)→Do(実行)→Check(検証)→Action(改善)のスパイラル
- ③ 人間性と専門資質の向上
  - ・社会人としての身だしなみ、心構え、仕事意識を定着させる
  - ・心豊かで逞しく働く意欲を旺盛に発揮し、仕事の遣り甲斐や責任感を高める
  - ・感謝の気持ちをもって周囲との連携を図り、より完成度の高い成果を得る。

・学科のスローガン

- ① 大学卒業より2年早く建築のプロ（二級建築士）になる！
- ② 業務遂行能力の熟成
- ③ ワンランク上を目指す！

(2) 育成する学生像

研究科ではワンランク上の学科として、より高度な実務レベルの建築知識・技術の修得、企業や地域と連携した実践的教育を行う。それにより責任感と業務遂行能力を高め、周囲との連携を図れる社会人を目指す。また、絶えず建築の将来ビジョンをもって業界人資質を高めていける人材を育成する。

(3) 将来はこんな職業に

- 建設会社（設計・施工・大工）
- 建築設計事務所（設計）
- 住宅メーカー（住宅営業・設計・施工）
- 建材メーカー（営業・工場など）
- 家具・インテリア関連企業（デザイン・制作）

## 6 測量環境工学科

(1) 目指す学科像

当学科は、測量と建設の両分野で工学的な教育を実施する学科です。昨今、新型コロナウイルスやウクライナ問題等、世界情勢に様々な変化が起こっています。その変化に適応できる技術者を育成するため、以下の3点について重点的に取り組み、安心・安全な社会基盤の再構築に貢献出来る教育を実施する学科を目指します。

- ① 国土交通省国土地理院の第3号測量士補養成施設として必要なカリキュラムを実施するとともに、測量実践教育を企業と共に連携し実施する。工学及び実習体験の両面から技術を修得させ、実践力のある測量士補養成施設を継続育成します。
- ② 国土交通省の建設業法施行令による技術検定制度の技術検定受験資格認定学科としてのカリキュラムを実施します。また、工学、研修実習、演習等の多方面から技術を修得させ、実力のある施工管理技士の育成を図ります。
- ③ 建設施工の社会基盤に関連する工学と、基盤の調査から社会資本の設計、施工、管理、基盤の評価、維持管理等に至る一連の工学のカリキュラムを実施し、必要により企業と共に連携し講義、講習等指導を得ながら建設工学技術者の教育の充実を図ります。

(2) 育成する学生像

社会基盤の創造に携わり、安全・安心な社会資本の構築に貢献することを喜びとする実践的な

シビルエンジニアを目指し、社会人マナーを持つ人間味溢れたコミュニケーション能力豊かな人材を育てます。その目的達成のため以下の4点に重点を置き人材育成を行います。

- ① 測量部門に関する専門知識や技術・技能を座学や実習を通して体験的に学習し、実践力のある測量士補の育成を目指します。企業と共に連携し講義、実習等を実施します。全員が測量士補としての技術力を身に付け士補資格を取得し卒業させます。
- ② 建設部門に関する専門知識や技術・技能を座学や実習を通して体験的に学習し、実践力のある施工管理技士の育成を目指します。尚、学科試験の合格率の向上を図るため演習を過去問中心に行います。また、放課後等を活用し希望者に対して補講を行います。最終的に卒業時に学科試験合格者 70%以上を目指します。
- ③ 測量・建設部門に関する専門知識や技術・技能を座学や実習を通して体験的に学習し、実践力のある測量技術者、シビルエンジニア、公務員等の育成を目指します。また、放課後の空き時間を利用し、各自の目的・方針に合った補習を行い各自の方向性に合う専門知識を向上させます。
- ④ 教室、実習室等の清掃強化に努め、基本的な挨拶、言葉遣い、身だしなみ、時間厳守等社会人マナーの躰教育に努める。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
測量士補	卒業と同時に無試験取得	測量士が作成した測量計画に従事し、実測を行うための資格。
測量士	卒業後実務経験2年で申請のみで取得	測量法の適用を受ける基本測量、国や公共団体が行う公共測量などに従事するための資格。
1・2級 土木施工管理技士	卒業後実務経験 2級：2年で受験可能 1級：5年で受験可能	土木工事やトンネル、ダム、橋梁の工事現場に置かれる主任技術者などに必要な資格。
1・2級 管工事施工管理技士	卒業後実務経験 2級：2年で受験可能 1級：5年で受験可能	管工事にあたり施工計画や施工図の作成、工程管理や安全管理などを担当する主任技術者などに必要な資格。
1・2級 造園施工管理技士	卒業後実務経験 2級：2年で受験可能 1級：5年で受験可能	造園工事にあたり施工計画や施工図の作成、工程管理や安全管理などを担当する主任技術者などに必要な資格。
1・2級 建設機械施工技士	卒業後実務経験 2級：1年で受験可能 1級：5年で受験可能	建設現場において管理技術者、主任技術者として機械化施工の管理および監督・指導を行うための資格。
1・2級電気工事施工管理技士	卒業後実務経験 2級：2年で受験可能 1級：5年で受験可能	建設において電気工事と他の工事に関連づけ、電気工事士への指示を担当する主任に必要な資格。

(4) 将来はこんな職業に

- コンサルタント（測量・調査・設計業務等）
- 建設施工会社（総合、専門）
- 建設関連製品メーカー
- 社会資本維持管理会社（JR、NEXCO等）
- 公務員（土木職）

## 7 二級自動車工学科

### (1) 目指す学科像

当学科は、国土交通省指定の一種養成施設として、次の取り組みを行います。

- ① 国家資格の二級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル）および自動車に関連する資格の取得を目指します。
- ② 職業実践専門課程の取り組みとして、企業や関係団体と連携し専門教育の内容充実を図ります。
- ③ 「主体性・多様性・協働性」を兼ね備えた、社会のニーズに応えられる人間性豊かな自動車整備士の育成を目指します。

### (2) 育成する学生像

当学科は、職業教育を通じた人間教育を基本に、次のような人材を育成します。

- ① 自動車整備に関する専門知識や技術力の向上を目指し「即戦力」となり得る力を育成します。
- ② 基礎・基本の観点から 6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・安全）教育の趣旨を理解し、実践できる力を養成します。
- ③ 目的意識を持ち、目標に情熱を持って取り組む主体性を備えた人材育成に力を注ぎます。

### (3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
二級ガソリン自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。
二級ジーゼル自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。
二級二輪自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な二輪自動車整備士としての資格。

### (4) 将来はこんな職業に

- 自動車販売店（ディーラー）の整備工場
- 各種新車中古車販売店の整備工場
- 大型車両 特装車両系販売店の整備工場
- カー用品等販売店の整備工場など

## 8 一級自動車工学研究科

### (1) 目指す学科像

当学科は、国土交通省指定の一種養成施設として、次の取り組みをします。

- ① 一級小型自動車整備士の資格取得をする
- ② 環境及び安全面で多様化する自動車の新技術に関する専門知識や故障探求の手順を学び、整備技術力が身に付いた人材を育成する
- ③ 職業実践専門課程の認定後の取り組みとして、企業・関係団体と連携し長期の体験実習による実践教育により接客対応力が身に付いた人材を育成する  
これらを実践することで、真の即戦力となる技術者の育成を目指す。

(2) 育成する学生像

当学科は、専門教育を通して自動車整備全般の知識と接客能力を併せ持つ教育を実践することで、以下の人材を育成します。

- ① 日進月歩する新技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけることで、向上心が強く働く意欲の旺盛な人材
- ② 接客能力を身に付け、積極的にお客様を受け入れることができる人材
- ③ 周囲と連携する能力を身に付けることで真のリーダーとして中心的な存在になる人材

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
一級小型自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。

(4) 将来はこんな職業に

- 自動車ディーラーを中心とした優良企業の自動車整備士

## 9 ICT ライセンス学科

(1) 目指す学科像

当学科は、「働きながら学びたい」や「自宅で勉強したい」、「別の勉強をしているが、ICT も学びたい」など、何らかの事情でキャンパスへ通えない人の学習ニーズに応える、ICT が学べる通信制の学科です。学習スタイルは、教科書とスクーリングが中心で、SNS を使った学校と学生の双方向コミュニケーションも提供しています。情報技術全般に関する基本的な事項を理解し、情報技術を活用したシステムの設計・開発・運用を実践します。

- ① 各種のプログラミング言語を学び、業務システムや Web システム、組み込みシステム等多様なシステム開発に対応できる人材育成を目指します。
- ② IT パスポート試験や基本情報技術者試験などの IT 系資格の取得を目指します。
- ③ 「自ら学ぶ」をしっかりサポートします。

(2) 育成する学生像

ICT に関する基礎的なものから最先端の技術までの幅広い講座を受講することによって、自らの知的好奇心を高め、その分野の学習に探求心をもって取り組める学生を育てます。

高度 IT 人材となるために必要な基本的知識・技能を持ち、社会に適應できる人材を目標に、以下の 2 点に取り組めます。

- ① ICT に興味を持ち、探求心を持って学習に取り組める学生の育成を目指します。
- ② 自ら学習のスケジュールリングを行いさまざまな期限を守ることができ、質問や報告を適宜行い、壁を乗り越え学習できる学生の育成を目指します。

(3) 将来はこんな職業に

- プログラマー
- システムエンジニア
- コンピュータオペレーター
- ネットワークエンジニア
- カスタマーエンジニア
- 情報系の大学への編入学

## 10 国際情報学科 (留学生対象)

### (1) 目指す学科像

当学科は、情報技術全般に関する基本的な事項を理解し、情報技術を活用したシステムの設計・開発・運用を実践します。

- ① 各種のプログラミング言語を学び、業務システムや Web システム、組み込みシステム等多様なシステム開発に対応できる人材育成を目指します。
- ② 専門分野では基本情報技術者、日本語分野では日本語能力試験 N2 の資格取得を目指します。
- ③ 実用的なシステム構築を実践します。

### (2) 育成する学生像

高度 IT 人材となるために必要な基本的知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身に付けた人材を目標に、以下の 2 点に取り組みます。

- ① 基本的なビジネスマナー（挨拶、期限厳守、報告、連絡、相談など）を身につけ、チームの一員として効果的な共同作業のできる学生の育成を目指します。
- ② システムの設計・開発を行い、信頼性・生産性の高いシステムを構築する創造力と企画力を持つ学生の育成を目指します。

### (3) 将来はこんな職業に

- |              |             |               |
|--------------|-------------|---------------|
| ■プログラマー      | ■システムエンジニア  | ■コンピュータオペレーター |
| ■ネットワークエンジニア | ■カスタマーエンジニア | ■情報系の大学への編入学  |

## 11 国際機械工学科 (留学生対象)

### (1) 目指す学科像

基礎的な加工技術を修得したうえで、アイデアを形にする学科を目指します。そのため次の 2 点に取り組みます。

- ① 金属加工、CAD を指導の柱とします。
- ② 各種工作機械や 3D プリンタを活用したものづくりを目指します。

### (2) 育成する学生像

基礎から応用まで幅広い分野で活躍できる人材を育成するため、次の 3 点に取り組みます。

- ① 基礎・基本を身に付け、誠実でたくましく、働く意欲の旺盛な技術者の育成を目指します。
- ② 勤労を重んじ、産業界に貢献できる創造性豊かな学生の育成を目指します。
- ③ 日本の習慣やマナーを大切にし、日本社会で円滑なコミュニケーションができる学生の育成を目指します。

### (3) 将来はこんな職業に

#### ■技術職

設計・製図 (CAD) や機械加工の知識・技術を生かし、航空機・船舶・印刷技術・金型製作・機械・自動車部品・プラスチック製品加工など、さまざまな分野で、主として保守・保全を含んだ生産管理者として活躍できます。

#### ■技能職

現在の産業界すべての生産現場で、オペレーターとして活躍できる。医療機器・アパレル・食

品加工・電気製品・車両・船舶・航空機・建設機械・工作機械・家具・文具・化粧品など、あらゆるものづくりの現場で生産技術者として活躍できます。

□その他

■CADオペレーター ■機械加工 ■機械メンテナンス など

## 1 2 国際自動車工学科 (留学生対象)

### (1) 目指す学科像

当学科は、国土交通省指定の一種養成施設として、次の取り組みを行います。

- ① 国家資格の二級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル）および自動車に関連する資格の取得を目指します。
- ② チームワークや協調性を大切にして、社会のニーズに応えられる人間性豊かな自動車整備士の育成を目指します。
- ③ 日本語能力の向上や日本の常識・マナーの会得を目指します。

### (2) 育成する学生像

当学科は、職業教育を通じた人間教育を基本に、次のような人材を育成します。

- ① 自動車整備に関する専門的な知識や技術の向上を目指し「即戦力」となり得る力を育成します。
- ② 基礎・基本の観点から6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・安全）教育の趣旨を理解し、実践できる学生を育成します。
- ③ 常に相手を思いやる気もちを持って「和」を大切にして、協調性のある学生を育成します。

### (3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
2級ガソリン自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。
2級ジーゼル自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。

### (4) 将来はこんな職業に

- 自動車販売店（ディーラー）の整備工場
- 中古車販売店の整備工場
- 整備専門の整備工場
- カー用品販売店の整備工場など

## 1 3 進学準備学科 (留学生対象)

### (1) 目指す学科像

- ① 当学科は日本語学科から本校工業専門課程（本科）への橋渡しの場として本科受験に耐え得るような基礎学力の向上を目指しています。
- ② 進学および更にその先の就職の際に学生が不自由なく行動できるよう、日本語に関する各技能をバランス良く鍛えながら実践的な日本語の実力を養成していきます。
- ③ 将来的に日本で就職することを念頭に置き、その心構えについての指導や情報提供を実施していきます。

(2) 育成する学生像

- ① より専門性の高い授業を理解し、常に向上心を持って積極的に勉学に臨めるような学生の育成を目指します。
- ② 語学力のみならず、将来的に日本で就職する際に重要となる社会人としての常識やマナー、コミュニケーション力を兼ね備えた人材を育成します。
- ③ 長期的な視野のもとで明確な将来像を持ち、それに向けて一つ一つ着実に目標を達成することができるような人材を目指します。

(3) 卒業後の進路

- 内部進学（本校の専門課程）      ■専門学校      ■大学、大学院      ■特定技能、就職、特定活動、家族滞在、帰国など

## 1 4 日本語学科（留学生対象）

(1) 目指す学科像

当学科は留学生の本校工業専門課程への進学、日本国内での就職を踏まえ、日本語能力試験の勉強を軸としつつも、日本社会に対応・適応できるだけの日本語力を養うことを目標として、次の3点に重点的に取り組みます。

- ① きちんとした生活指導の上に日本語の授業を構築します。
- ② 日本社会で通用する人柄、考え方、また字の丁寧さの必要性について、学生に対し十分な説明を行います。
- ③ 聞く力だけではなく、自ら発話する力や勉強したことを運用するために必要な「基礎力を強化する取り組み」を、繰り返し行っていきます。

(2) 育成する学生像

日本語力とともに、日本での就職を念頭においたとき必要となる「社会人としての心得」を身につけることを目標とし、次のような学生を育成します。

- ① きちんと約束を守ることができる学生を育成します。
- ② 教員の指示、組織内の規則に従える学生を育成します。
- ③ 自ら目標を定め、その目標に向かって進んでいける学生を育成します。

(3) 卒業後の進路

- 内部進学（本校の専門課程）      ■専門学校      ■大学、大学院      ■特定技能、就職、特定活動、家族滞在、帰国など

## Ⅲ 教職員（情報提供ガイドラインの項目3）

理事長	校長	副校長	教頭	専任教員	兼任教員	局長	事務局	計(人)
1	1	1	1	33	43	1	21	102

## IV キャリア教育・実践的職業教育（情報提供ガイドラインの項目4）

### 1 インターンシップ

各学科では企業との連携の一環で、企業における現場実習（インターシップ、体験実習）を実施しています。期間および実施時間数は各学科により異なります。

実施学科：

映像音響学科	電気通信工学科
食品生命科学科	建築工学科
建築工学研究科	測量環境工学科
二級自動車工学科	ものづくり創造学科(現国際機械工学科)
国際自動車工学科	

### 2 進路講演会

学生の進路意識を高めるとともに、職業選択の一助にするため、学生向けの進路講演会を開催しています。令和4年度は計3回でした。

- ① 学校が主催するもの : 年2回
- ② 学生支援会が主催するもの : 年1回

### 3 企業説明会

本校では関係企業の協力のもと、学生を対象とした学校主催の説明会を、毎年1、2月を中心に実施しています。参加企業数は学科により異なりますが、学校全体で延べ約130社です。

### 4 教職員の研修会の参加

教職員の資質能力の向上を図るため、毎年多数の教職員を外部研修に派遣しています。昨年度は延べ約50名が参加しました。

### 5 研究紀要

本校では教職員の資質能力の向上を通して、本校教育の一層の充実を図ることを目的に、平成22年度から教職員の執筆による研究紀要を発刊しています。研究紀要の発刊は、本校教職員の研究意欲の醸成に繋がるとともに、本校教育の力量を周知する広報資料として活用しています。令和4年度は教員3名が執筆しました。

## V 様々な教育活動・教育環境（情報提供ガイドラインの項目5）

### 1 広報新聞

本校では本校の教育活動を保護者に理解していただくため、学校行事等のトピックスを掲載したカギセンニュースを発行しています。カギセンニュースは、成績表の送付にあわせて保護者に配付し学校と家庭を結ぶ情報手段として活用しています。「学校の状況や学生の活動状況が手に取るように分かる」と非常に好評です。

## 2 技術競技会

建築工学科、建築工学研究科を中心に設計コンクール等に参加し、毎年入賞するなどして高い評価を頂いています。

## 3 展示会・発表会

卒業研究の発表として校内および校外の施設を会場に開催しています。

開催学科：

映像音響学科

食品生命科学科

建築工学科

建築工学研究科

## 4 校外研修

全学科が校外の施設等の見学や技術研修に取り組んでいます。

## 5 学生寮の整備

本校は、遠隔地から進学する学生のため学生寮を設け生活支援を行っています。

# VI 学生の生活支援（情報提供ガイドラインの項目6）

## 1 アルバイトの紹介

学生窓口を設けたり、掲示板に資料を張り出したりしてアルバイト情報等を提供しています。

## 2 教育相談

本校ではクラス担任が教育相談の窓口となり、初期の対応に当たるとともに、内容によっては学科主任、グループ長、教務部長、教頭、副校長が連携して対応できる体制を整えています。

## 3 学生支援会

本校の学生支援会（旧保護者会）は、平成12年に学校を支援する組織として設立されました。活動としては、学校行事等への参加、進路講演会の開催、備品類の寄贈等です。

## 4 企業後援会

本校の企業後援会は、平成3年に教育事業の後援と学生の就職支援等を目的として設立され、本校教育並びに卒業生の進路等に絶大な支援をいただいています。会員企業数は約190社です。

## 5 同窓会

本校の同窓会は、「会員相互の親睦を図り、在校生および卒業生の縦のつながりを密にし、各分野で活躍されている同窓生のつながりを深める」ことを目的に平成7年に設立され、今日まで本校卒業生の精神的拠り所となっています。本校の創立30周年記念にはスクールバスを寄贈いただきました。

## VII 学生納付金・就学支援（情報提供ガイドラインの項目7）

### 1 学生納付金

学 科	入学金 (入学時 のみ)	前期学費		後期学費		1 年次 合 計	2 年次 合 計	3 年次 合 計
		授業料	設備 維持費	授業料	設備 維持費			
映像音響学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	/
電気通信工学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	/
食品生命科学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	/
建築工学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	/
建築工学研究科	220,000	370,000	90,000	370,000	90,000	1,140,000	/	/
測量環境工学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	/
二級自動車工学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	/
一級自動車工学研究科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	/
国際情報学科	220,000	280,000	90,000	280,000	90,000	960,000	740,000	740,000
国際機械工学科	220,000	280,000	90,000	280,000	90,000	960,000	740,000	740,000
国際自動車工学科	220,000	280,000	90,000	280,000	90,000	960,000	740,000	740,000
進学準備学科	220,000	250,000	60,000	250,000	60,000	840,000	/	/
日本語学科	100,000	250,000	60,000	250,000	60,000	720,000	620,000	/

通信制学科	入学金	在籍基本料	科目授業料	2年間合計
ICT ライセンス学科	50,000	50,000(半期)	10,000(1単位)	870,000 ※2年間で62単位取得の場合

(単位：円)

※上記納付金以外に、教科書代、教材・教具費用、学生諸費用（同窓会費、補助教材費、スポーツ振興費、保険代等）として下記の金額を入学前または進級時に納めていただきます。

●1年次

- 6万円程度：進学準備学科・日本語学科
- 10万円程度：国際情報学科・ICT ライセンス学科
- 12万円程度：建築工学研究科
- 13万円程度：食品生命科学科・測量環境工学科・国際機械工学科
- 14万円程度：一級自動車工学研究科・国際自動車工学科
- 15万円程度：二級自動車工学科
- 19万円程度：電気通信工学科
- 24万円程度：映像音響学科・建築工学科

※ノートパソコンを使用する下記( )内の学科で、学校を通じて購入する場合は、別途20万円程度が必要です。

(映像音響学科・電気通信工学科・食品生命科学科・建築工学科・建築工学研究科・ICT ライセンス学科・国際情報学科・国際機械工学科)

●2年次

- 6万円程度：日本語学科
- 10万円程度：国際情報学科・ICT ライセンス学科
- 12万円程度：国際自動車工学科
- 15万円程度：上記学科以外

●3年次

10万円程度：国際情報学科・国際機械工学科・国際自動車工学科  
※一級自動車工学研究科は、産業能率大学の併修料が必要となります。

※外国人留学生奨学金

- 日本国内の日本語学校卒業者および卒業見込み者は、入学金を10万円減額します。
- 入学前に日本語能力試験(JLPT)の N3以上に合格している者は、卒業まで半期毎の授業料を各合格レベルに応じ減額します (N1=10万円、N2=5万円、N3=3万円)。  
入学後、該当試験に合格した者は次期授業料より減額します。

**2 奨学金制度**

(1) 特待生制度

〈特待生の特典〉

後期授業料全額～3万円を給付します。(初年度のみ)

〈応募資格〉

専願にて本校の入学試験を受験している等  
※入学後、ホームルームなどで案内します。

(2) 奨学金

- A0 入学試験の合格者は A0 奨学金として前期授業料より10万円を減額します。(初年度のみ)
- 指定校推薦にて受験した合格者は指定校奨学金として前期授業料より10万円を減額します(初年度のみ)。
- 専願にて受験した合格者は専願奨学金として前期授業料より2万円を減額します(初年度のみ)。

※ICT ライセンス学科を除く。

(3) 家族割引

本校に合格し入学する者で、本人と2親等以内の間柄にある兄弟姉妹または親子等が本校に在学中もしくは卒業している場合、家族割引として入学金を全額免除します。

(4) 学費補助制度

本校に合格した方は、下記の奨学金を利用できます。

① 高等教育修学支援新制度

対象高等教育機関として認定されておりますので、該当する方は利用できます。	
授業料減免	入学金 上限16万円 授業料 上限59万円 進学後に申し込みます。
給付型奨学金	自宅通学者：46万円 自宅外通学者：約91万円 進学する前年の4月下旬から高校などを通じて申し込むことができます。

※金額は年額です。詳しくは文部科学省のホームページをご確認ください。

② 日本学生支援機構 奨学金制度

貸与型奨学金 給付型奨学金	高校在学時または進学・進級後に申し込むことができます。 ※入学後の場合、希望者を対象とした説明会を4月中旬に行います。
------------------	--

採用決定	学校の選考委員会が人物・学力・家計の推薦基準を満たしている奨学金申し込み者の中から選考のうえ、機構に推薦します。機構では、この推薦を受けて審査を行い、奨学生として採用を決定します。
貸付月額	第一種奨学金（無利子） 自宅通学者：2万円、3万円、4万円、5万3千円 自宅外通学者：2万円～6万円希望月額を選択。 第二種奨学金（有利子） 2万円～12万円希望月額を選択。
利 息	第二種奨学金（有利子） 在学中は無利子。卒業後は3%を上限とする利子がかかります。
保 証 人	保証人・連帯保証人が必要（機関保証制度あり）。
返還方法	貸与終了後、翌月から数えて7か月目に本人指定の口座から自動引き落としにより返還が始まります。 月賦返還、月賦・半年賦併用返還のどちらかを選択できます（経済状況により繰り上げ返還、減額返還、返還期限の猶予等もあり）。
返還回数 及び金額	返還総額により決定します。

※詳しくは独立行政法人日本学生支援機構のホームページをご確認ください。



## 事業活動収支計算書

学校法人名					
岡山科学技術学園					
		(令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位:円)			
区 分	000	Y00	岡山科学技術 専門学校		
	総 計	学校法人部門			
教育活動収入	(1) 学生生徒等納付金	565,324,980		565,324,980	
	(2) 手数料	9,184,000		9,184,000	
	(3) 寄付金				
	(4) 経常費等補助金	22,261,110		22,261,110	
	(5) 付随事業収入	45,571,115		45,571,115	
	(6) 雑収入	16,680,638		16,680,638	
	a 教育活動収入計	659,021,843		659,021,843	
	教育活動支出	(1) 人件費	354,596,928		354,596,928
		(2) 教育研究(管理)経費	206,446,797		206,446,797
		(うち減価償却額)	51,954,655		51,954,655
(3) 徴収不能額等					
b 教育活動支出計		561,043,725		561,043,725	
c 教育活動収支差額 (a 教育活動収入計 - b 教育活動支出計)		97,978,118		97,978,118	
教育活動外収入	(1) 受取利息・配当金	330,941		330,941	
	(2) その他の教育活動外収入				
	d 教育活動外収入計	330,941		330,941	
	教育活動外支出	(1) 借入金等利息	5,396,124		5,396,124
		(2) その他の教育活動外支出			
e 教育活動外支出計		5,396,124		5,396,124	
f 教育活動外収支差額 (d 教育活動外収入計 - e 教育活動外支出計)		△ 5,065,183		△ 5,065,183	
特別収入	(1) 資産売却差額	24,338,056		24,338,056	
	(2) その他の特別収入 (うち寄付金)				
	(うち補助金)				
	g 特別収入計	24,338,056		24,338,056	
	特別支出	(1) 資産処分差額	881,481		881,481
(2) その他の特別支出					
h 特別支出計		881,481		881,481	
i 特別収支差額 (g 特別収入計 - h 特別支出計)		23,456,575		23,456,575	
j 基本金組入前当年度収支差額 (c + f + i)		116,369,510		116,369,510	
k 基本金組入額合計		△ 66,474,706		△ 66,474,706	
l 当年度収支差額 (j + k)		49,894,804		49,894,804	
m 前年度繰越収支差額		△ 765,324,173			
n 基本金取崩額					
o 翌年度繰越収支差額 (l + m + n)		△ 715,429,369			

# 財 産 目 録

令和5年3月31日 現在

科	目	
一 資産額		
（一）基本財産		
1	土地	
	（1）校地	900,300,000 円
	（2）寮地	72,052,130 円
2	建物、構築物	
	（1）校舎 岡山市北区昭和町35-1 他	511,261,882 円
	（2）寮 岡山市北区谷万成	100,508,202 円
	（3）構築物	25,319,446 円
3	教育研究用機器・備品	31,223,622 円
4	管理用機器備品	5,233,606 円
7	その他の財産	38,212,562 円
（二）運用財産		
1	預金、現金	279,486,218 円
2	未収入金、前払金	3,972,613 円
5	貯蔵品 他	25,515,131 円
資 産 合 計		1,993,085,412 円
二 負債額		
1	固定負債	
	（1）長期借入金 他	360,089,000 円
2	流動負債	
	（2）授業料前受金 他	264,709,960 円
負 債 合 計		624,798,960 円
三	差引正味財産	1,368,286,452 円

# 事業報告書

(第36期 令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

深く専門の諸科学を教授研究し、高度産業社会の科学的発展に寄与する優秀な技術力を持つ専門技術者を育成する。

### (2) 学生数の状況

(5月1日時点)

	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
令和4年度	460人	234人	950人	527人

令和4年5月1日時点での学生数は、1年生（日本語学科を含む）234名、2・3年生293名、合計527名であった。また、日本語学科4月期生は最終的に113名、10月期は38名であった。

### (3) 役員の概要

理事：9名（常勤5名、非常勤4名）

監事：2名（非常勤2名）

評議員：20名（常勤8名、非常勤12名）

\*当校は役員等を被保険者とする役員賠償責任保険契約を締結しています。当保険契約は役員等がその職務の執行に起因して保険期間中に損害賠償請求された場合の損害賠償金及び争訟費用等が当該保険にて填補されます

## 2. 事業の概要

### (1) 教育活動

当年度は、一級自動車工学研究科、国際機械工学科、ICTライセンス学科（通信制）の3学科については初年度となり、在籍者数は少ないが新たな分野を模索する年となった。

コロナ感染症対策の影響があったものの、ほぼ通常通りの授業と実習が行なわれた。また、スポーツ大会への参加や県外の校外研修も実施することができた。ただインターンシップについては受け入れ企業が少ない状況が継続した。

年度終盤での卒業式については平常時の内容・会場で挙行することができ、当年度は224名の卒業生及び修了生を送り出すことができた。

### (2) 資格取得

#### 映像音響学科

舞台機構調整技能士（2級・3級）、第二種電気工事士、映像音響処理技術者

ビジネス著作権検定（初級）、足場の組立て等特別教育、フルハネ型墜落制止用器具特別教育

#### 電気通信工学科

第二種電気工事士、第一種電気工事士、工事担任者第一級無線通信、第一級陸上特殊無線技士、第一級陸上無線技術士、第三種電気主任技術者、日本語能力試験（N2, N1）

#### 食品生命科学科

危険物取扱者（乙種4類）、中級バイオ技術者、環境社会検定、生物分類技能検定4級、品質管理検定（3級）、日本語能力試験（N2）

建築工学科

2級建築施工管理技士、福祉住環境コーディネーター3級、建築積算士補

建築工学研究科

2級建築士

測量環境工学科

測量士補、2級土木施工管理技術者

ものづくり創造学科

3級技能検定(旋盤)、機械保全技能士3級、3級技能検定(マシンガセタ)、  
危険物取扱者(乙種4類)、日本語能力試験(N2)

二級自動車工学科

二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、フォークリフト運転技能講習  
電気自動車等の整備業務に係る特別教育、日本語能力試験(N2)

国際自動車工学科

二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、フォークリフト運転技能講習  
電気自動車等の整備業務に係る特別教育、日本語能力試験(N1, N2)

\* 二級自動車工学科(34名)および国際自動車工学科(64名)においては、二級自動車整備士資格  
を卒業生全員が取得することができた。

(3) 就職状況

令和4年度も就職状況は順調で希望者すべての就職が決定した。求人倍率は16.8倍  
であった。

(令和4年度実績)

求人社数1,348社、求人数3,149人(求人倍率16.8倍)、就職率100%

# 監査報告書

学校法人 岡山科学技術学園

理事長 瀬戸川 正彦 殿

私たちは監事として、岡山科学技術学園 寄附行為第17条に基づく監査報告を行うため、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の、学校法人の業務又は財産の状況について監査を行った結果、学校法人の業務又は財産に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めます。

令和5年 5月 18日

学校法人 岡山科学技術学園

監事 入江 一 彦 

監事 初氣 由典 

以上

## Ⅸ 学校評価（情報提供ガイドラインの項目9）

- (1) 自己点検・自己評価 ホームページ上「<https://www.oist.ac.jp/report.html>」に掲載
  - (2) 自己評価 ホームページ上「<https://www.oist.ac.jp/report.html>」に掲載
  - (3) 学校関係者評価 ホームページ上「<https://www.oist.ac.jp/report.html>」に掲載
-